

送ろう！はげましの声！起こそう！全会員参加の運動を！

震災から2週間が経ちました。死者・行方不明者を合わせると2万5千人を超え、甚大な被害が目を追うごとに明らかになっています。また、全商連情報では日々、会員の状況が伝えられ、安否確認に全力を尽くしている現地の状況が記されています。

兵商連では緊急に、国への要請も含め、兵庫県と神戸市に申し入れました。

また、兵商連と中小商工業研究所と共同で、「東日本大震災が経営に及ぼす影響について」の緊急調査を実施しています。

募金と合わせ、袋に書かれた励ましの声も届けられるようになりました。

16年前に私たちを励ましてくれたのはあたたかい仲間の声と行動です。

全会員へ募金袋を届け、運動への参加を呼びかけましょう。

本日送付した災害への救援について(NO4)では、支援物資、ボランティア登録などを呼びかけています。積極的に取り組みましょう。

歴史と運動を伝えたい

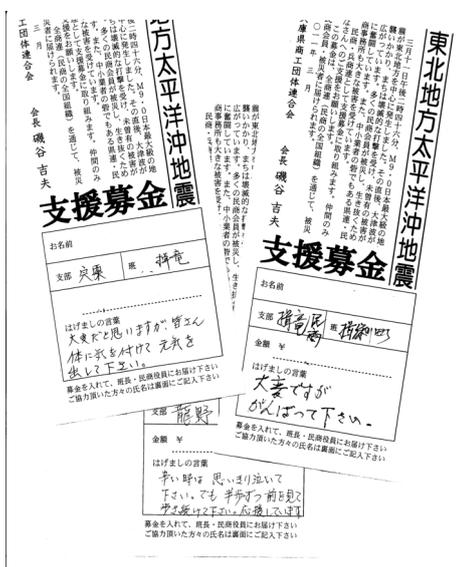
神戸親和民商 小紫伸介会長

この度の東日本大震災で多くの仲間が犠牲になったことに大変心が痛みます。16年前の阪神・淡路大震災の折、全国の仲間からの義援金、全商連共済会からのお見舞い金を頂き私たちは大いに励まされました。

震災当時のことを知らない人が民商の中で多くなって来ています。歴史をしっかりと伝え、全国に恩返しをするつもりで取り組みを強めたいと思います。

まず必要なのはお金です。募金袋を持っての会員訪問、集まりがあれば必ず募金箱を持っていくという活動を重視したいと思います。

全商連緊急情報を読み合わせよう！



神戸市への要請文を紹介し 被災者救援について

- 1、被災を経験した自治体として、市の総力をあげて被災者の救助・救援を最優先する支援をおこなうこと。また、被災者のくらしの再建・被災地の再建がされるまでの支援を行うこと。
- 2、支援物資は、区役所ごとに受入れ、一括して被災地に送る措置をとり、支援をしたいという、神戸市民の願いをたばねること。
- 3、被災地からの避難を積極的に受け入れ、被災関係自治体とも連携を密にし、神戸市に避難しても情報が十分いき届くようにすること。被災者支援策が受けられるようにすること。また、観光地のホテルや旅館などとも協議し、被災者を積極的に受け入れること。また、避難者の就労の機会も考え、長期避難を支えること。
- 4、住居、仕事など、根こそぎなくなった被災者の生活再建に対し、住宅再建だけでなく、生活費、生業にかかわる店舗・船の再建費用、農業・酪農の支援など、被災者生活再建支援法の幅を広げた適用を国に申し入れること。
- 5、安全神話が崩れた原発事故の徹底した情報開示を国に求めること。また、既存原子力発電所の点検の徹底を求め、結果を公表するよう国に申し入れること。
- 6、既存借入金の債務免除を金融機関に要請すること。また、信金・信組はじめ地域金融機関には、それが可能になるような支援を強化すること。また、緊急災害復旧融資は、画一的な書類の添付を求めず、本人申請で承諾するなど、柔軟な対応をすること。
- 7、被災地域におけるさまざま税の取り扱いについて、無期限の納税の猶予の措置をとるよう、国に申し入れること。
- 8、いのちと健康を守る立場から、社会保険料、国民健康保険の保険料(税)と一部負担金についての免除措置を全半壊に限るなどの条件は設けず、無期限でおこなうよう、国に申し入れること。

全会員訪問、街頭募金にも取り組み(葺合) 葺合民商は23日の三役会議で募金活動について議論しました。会員1軒1軒を回ってワンコイン規模でうったえることや、春日野道駅前やハット神戸近辺などでの街頭募金への取り組み、またそれと合わせて募金袋の郵送もしていくことについて話し合い、出席した役員らも当日の交通費を募金するなど、被災地への強い思いが活動にも反映されています。